

令和3年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立安原小学校
作成日	令和4年3月7日

1 教育目標

自ら学び、心豊かで創造性に富む子どもの育成

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の育成	豊かな人間性の育成	健康でたくましい子の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ○具体的な数値があるのでわかりやすい。 ○妥当と考える。 ○分からないことをわからないと言って、質問できることが確かな学力アップだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○具体的な数値があるのでわかりやすい。100%という指標の高さは、これまでの取り組みの成果が出てきているからだと思う。 ○妥当と考える。 ○自尊心ある人間性が大切だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○具体的な数値があるのでわかりやすい。 ○妥当と考える。 ○「朝ごはん戦略」と称し、脳も体も心もまずは朝ごはん。 	<ul style="list-style-type: none"> ○具体的な数値があるのでわかりやすい。 ○妥当と考える。 ○地域には「力」を貸してくれる人材がきつとあるはず。保護者や地域の人々を巻き込んでいこう。
見重点目標に対する意	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度の取組と成果について教職員全体で反省し、反省に基づいた地域や学校、子供たちの実態に合致したものでよいと思った。 ○目標は適切であると考える。 ○主体的・対話的な授業は子供たちが生き生きとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度の取り組みと成果について教職員全員で反省し、反省に基づいた地域や学校、子供たちの実態に合致したもので良いと感じた。 ○いじめはしないのが当たり前、未然防止、早期発見、そして迅速な対応が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標としてよいと思います。 ○目標は適切であると考える。 ○各重点目標の中でも、基本的な生活習慣が他の目標の根幹だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校区での学校連携の推進は、とても大きな目標です。子供たちの事態把握のためにも授業の相互参観等の取組を深めてほしい。 ○コミュニティスクールをどんどん企画して、活性化を目指してほしい。
取組状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○継続している安原タイム、補充学習の継続的な取組が基礎学力定着につながっている。 ○昨年に引き続き、先生方の共通理解のもと家庭学習の手引きを作成し、子供たちの学習習慣の定着に家庭と協力した取組は、安原小の子供たちの学力向上につながると思う。 ○学び合いの授業づくりの推進のため、研究授業や協議会の更なる充実を図ることに賛同する。 ○安原タイムの学習、研究授業や協議会の充実、実践、いろいろな取組に頑張っていることがよくわかった。 ○コロナ禍の状況で協議会を開くことや他機関との連携は難しい面があったと思う。 ○読み聞かせがコロナ禍で最近ないようだが、子供たちは楽しみだったようだ。 ○「聞く力」をつける必要があると思った。発言(発表)に対し、受け止める力、聞く力に欠け、集中力が持続しない子供が見受けられる。発言がクラス・班全体のものになっていない画面が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ解消率100%を指標をもとにアンケートを3回実施し、その結果を生かしていじめの未然防止・早期発見に努める取組は、毎日不安に過ごしている多くの子供たちを救っている。それでも捉えきれないのが子供たちの巧妙ないじめです。さらに研修等で子供たちの生活の中に存在する「いじめ」や「いじめに繋がる子供たちの言動」を先生方が見抜いていく目を育ててほしいと願う。 ○保護者からの相談にも十分な対応ができてることが解消率100%に繋がっている。 ○いじめアンケートを実施することで、問題意識が芽生え、よい対応ができると考える。 ○「心のとびら」って素敵なネーミングですね。いっぱいドアノックしてくれたら、いじめ不登校等なくなるような気がする。心豊かな安原っ子育成になるなと感じた。 ○様々な方法で取り組んでおり、貴校が豊かな人間性の育成に力を注いでいることが感じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全の充実をより一層図るべきと思う。 ○「早寝、早起き、朝ごはん」推奨は、考える力と行動する体力づくりを目指しているなと思った。 ○家の中で過ごすことが多くなる状況の中、学校で活動的な取組をしてくださることはとても良いと思う。 ○コロナ禍での3密を避ける、マスク、手洗いなど引き続き取り組んでください。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活動がコロナによって活動自粛、中止になるなど、取組みが困難であったことは理解できる。 ○コロナ禍で地域ぐるみの活動が困難なのはやむを得ない。 ○コロナ禍の中での取組は難しい面が多いと思うが、限られた中でよく取組まれたと思う。 ○東中学校ブロックの小中学校長会を学期ごとに行うことをぜひ続けてください。

<p>取組の適切さの検証結果に対する意見</p>	<p>○「授業がよくわかる」児童が8%増えたことは、先生方の授業改善の成果だと思う。今年度はコロナの関係で訪問も少なくなりましたが、前回の学校訪問時の参観では、各先生方が発表会の授業ではなく、学び合い考え合う授業に取り組んでいた。先生方の授業改善に対する意欲と努力を感じた。</p> <p>○子供たちが、その授業で「何を考えるのか」「何を話し合うのか」といった話し合いの視点が生まれるよう、子供たちに学習のめあてを持たせる導入の工夫が必要と感じる。</p> <p>○学習到達度調査において、課目別に市平均と比べばらつきはあるが、授業がよくわかった児童数の向上は評価したい。</p> <p>○授業を工夫改善している先生が94%(-6%)ってなっているのは、去年は、100%だったということ。それでもほとんどの先生が工夫改善してくれていることが素晴らしい。</p> <p>○旭学園の児童に対しても、放課後に補充学習を行ってくださり、学習意欲の向上につなげていただいた。個々の能力に合った学習支援を今後も継続していただきたい。</p> <p>○再テストを実施してくれるので、学力が向上していると思う。</p> <p>○授業を工夫している状況が見受けられる。それを授業改善につなげるために、より一層日々の教材研究を続けてください。</p>	<p>○昨年に引き続き、人権・部落問題学習を組織的・計画的に行うとなっている。授業参観に6年生の歴史学習(部落問題学習)を実施し、懇談会で話し合うことも保護者の人権意識を高めることにつながると思う。</p> <p>○いじめがなく、学校が楽しいと感じる児童が94%という結果は、取り組みが正しかったと評価したい。</p> <p>○いじめ解消率100%???グレーゾーンが残っているのではないか。</p> <p>○いじめ問題の解消率100%であることは、対応や対策が適切であった結果であり評価できると思う。</p> <p>○黙食で自由に会話ができず色々な制限があり、楽しいと感じる児童が昨年より2%低くなったのか。</p> <p>○学校(1日で一番長く活動する場)が楽しくない。辛いことです。アンケートから先生はその子はだれなのかかわかると思う。具体的に取り組んでください。</p>	<p>○「朝ごはんを食べた」指標100%はとても大切なことだ。毎日食べない児童が、高学年になるほど多いということは市全体の傾向である。理由は様々だが、学校だけでは解決することが難しい面もある。引き続き保護者を巻き込んだ取り組みが必要だ。</p> <p>○「健康でたくましい体づくりは、外遊びと歩行による登下校が大切だ。継続した取組をお願いする。</p> <p>○自転車でのヘルメット着用率を数値化し、どこが問題なのか把握することが重要と考える。</p> <p>○高学年ほど毎日食べていないのはなぜかな。考えてみるとダイエット、夜更かし、朝寝坊、塾通い、生活リズムの乱れか。</p> <p>○自転車乗車時のヘルメット着用率を上げるためには、保護者にその重要性を働きかけるのが良いと思う。</p> <p>○高学年になるとスマホを持つ児童が多くなり、スマホの見過ぎで眠れない、起きられない、朝食を食べる時間がないと思う。</p>	<p>○学校の様子が伝わったと感じる保護者が80%以上になるよう努力されたい。</p> <p>○地域の方々に関わる学習ができたことはすごくよかった。</p> <p>○アンケートの中にある「だれでもあいさつができる」児童が増えていくことは、地域の中で社会性を育ていけることなので「とてもそう思う」児童が増えてくれればと思う。</p> <p>○個人情報問題で、顔が写った写真がないこと、みふね(PTA広報誌)の発行も学校行事が載らなくなり、授業参観が減り、学校の様子が分からず残念です。</p> <p>○学校、学級、子供が情報発信することで、学校が情熱をもって子供を育てていることが伝わる。そのことが保護者の信頼を得、学校への協力がより一層強くなると思う。</p>
<p>改善年方法法にに向けての意見</p>	<p>○全員の学力向上もさることながら低学力児童が少なくなるよう、教職員の努力に期待する。</p> <p>○基礎学力は、とても大切なことだから、安原タイムの活用・実施はよい方法だと思う。</p> <p>○「安原タイム」のように、個々の能力や興味に合わせたプリント学習をする取り組みは、有効だと思う。</p> <p>○読書タイムは個人的な意見として、もっと増やしてほしい。</p> <p>○「安原タイム」の改善方法はよいと思う。</p> <p>○基礎学力不足の子供に家庭学習の実践は難しい。その子供に合った具体的な手立てが必要だ。</p>	<p>○今後も楽しい学校であり続けられるよう、教職員の努力を期待する。</p> <p>○ネット社会の諸問題は、これから大きな課題となるため、大人がしっかり学ぶべきことだ。</p> <p>○ネット社会に潜む危険性については、低学年から取り組んでいくことが必要だと思う。</p> <p>○道徳でいじめについて学習していると聞いている。こういうことがいじめにつながるかと具体的に学んでいるようで、些細なことでも先生に報告して問題行動には迅速に対応していただけた。</p> <p>○引き続き自尊感情を育成する取組を実践されたい。</p> <p>○ネット社会に潜む危険性について、保護者と共に学ぶ機会をぜひ持ってください。</p>	<p>○交通安全教育の充実を希望する。</p> <p>○「しっかり食べて、ぐっすり眠る」は、生きる基本、心身ともに元気の源だ。</p> <p>○スマホのブルーライトの脳への影響など、学校で教えてほしい。</p> <p>○長時間ゲームに費やしていることが気になる。学習・健康・心の面などに悪影響が出てきているのではないか。家庭と連携して、一人一人に合ったルール作りが必要であると思う。</p>	<p>○特色ある地域教材の開発を期待する。</p> <p>○もっと地域の方や保護者の協力をお願いしていいと思う。</p> <p>○避難訓練、交通安全教室の日程を1カ月位前に知らせていただけたら、もっと保護者が協力できると思う。</p> <p>○地域で挨拶をして存在感を示そう。地域を活気づけてください。地域は学校子供のために協力は惜しまないと思う。</p>

3 その他のご意見

○ネット社会に潜む危険性について保護者との連携協力は、ますます必要になる。スマホ等携帯電話を所持している子供の人数と使い方等も知っておきたい。

○きのくにコミュニティスクールの推進に係る研修会に参加して、「CS導入は和歌山県がトップ、実働は??？」と言っていた。集いあい、学びあい、ふれあい、結びあい、4つの愛を育てたい。共有協働として、高校生が小学生の宿題や勉強を見てあげる。コンビニの店長(店員)や塾の先生にPTAの役員や運営委員になってもらう。地域の方に校庭の草引きをしてもらう。そして、子供たちは地域を掃除する。

○旭学園の子供たちは、毎日学校へ通うのをとても楽しみにしている。これも先生方のご配慮のおかげだと思う。今後どうぞよろしくお願い致します。

○通学路に危険箇所がある場合、安全確保のため組織的に取り組む必要があると思う。命あつての安原小学校教育だ。コロナ禍での制約の中、子供たちにストレスが溜まっていないか行動をよく観察し対応してください。ゲームの時間が長くなっているなど、生活が変化していると思う。

○物を大切にしない、雑に扱う、片付けられない子供が増えているように思う。珠算教室を経営しているが、練習プリントをビリビリに破って床に捨てそのままにする。先生に鉛筆を忘れたからと言って借りたのに、その鉛筆を受け取るなり折る。本棚の本を床に放置して帰る。あまりに醜い行動に感じる。昔と違い壊れても修繕しながら何度も繰り返し大切にモノを使うことなく、少し悪くなると新しいものに替えたりと、短時間で消耗する風潮が子供たちを取り巻く環境にあるからなのか、心配になる。

○察する能力というか共感性が弱い子供も増えているように思う。周りの子を特に理由もなく叩いたり、邪魔をしったりする子がいて、その子には「相手の気持ちになって考えてみな」と注意したが、そもそも想像力が及ばないというか、相手がどういう気持ちになるのか考えられないのかなと思った。保護者ん方には、もっと会話をして普通の生活の中でも親自身が自分が今どういう気持ちでどういう感情を抱いているのか折に触れ、子供に話してはどうか、という話をしている。現在は共働きの家庭が多く、子供たちと外で遊ぶことが減っている。他者と関わる中で学ぶべきものに出会う機会を失って裡るかもしれない。

○先生方にとって永遠のテーマと言えるかもしれないが、「好奇心」を持たせる授業づくりが大事だと思う。分からせるのも大事だが、その前に子供たちを食いつかせなくてはいけない。全員が先生の授業に目を輝かせて聞き入り、参加し、理解を深める。そのためにはまず先生が授業内容に好奇心を示すこと、教師としてでなく、時に子供たちと同じ目線で新しい不思議に出会い、知識を得る感動を分かち合うのがベストな方法のような気がする。